【別添２】（様式例２）

令和４年度　自己評価・学校関係者評価　報告書

岐阜県立飛騨高山高等学校通信制課程　学校番号　5813

Ⅰ　自己評価

1　学校教育目標	（1）「快活」「友愛」「創造」を校訓とし、心身ともに健やかで、より豊かな人間性と「生きる力」を備えた生徒の育成を目指す。 （2）社会への貢献や地域の発展に寄与できる人材育成を目指し、社会人としての一般教養を身に付けさせるとともに、創造性にあふれ、明朗快活で心豊かな人間性を養う。		
2　スクール・ポリシー	『育てたい生徒像』 グラデュエーション・ポリシー（GP）	『生徒をどう育てるか』 カリキュラム・ポリシー（CP）	『どんな生徒を待っているか』 アドミッション・ポリシー（AP）
	・豊かな思考力と適切な判断力を身に付け、周囲と協働できる生徒 ・互いの人格を尊重し、周囲と交流しながら、自らの役割と責任を果たせる生徒 ・郷土を愛し、地域の発展のために地域や社会に貢献できる生徒	・課題の発見・解決能力を伸長するための「主体的・探究的な学び」の面接指導を推進 ・「思考」「判断」「表現」の力を伸長し適切に評価するレポート課題の作成 ・生徒の個性や長所を伸ばすためのカリキュラム編成と個に応じた細やかな指導の実施	・向上心と、多様性を尊重する姿勢を持ち、周囲と協働しながら主体的に学ぶ意欲を持つ生徒 ・自らの目標や希望を実現するために、主体的に学ぶ意欲のある生徒 ・生徒会活動や学校行事及び他校との交流などに自主的に参加し、周囲とのより良い人間関係を築いていく意欲のある生徒

3　評価する領域・分野	◇　生徒指導（教育相談）・特別活動・保健管理
4　現状、生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	・「いじめアンケート」に本年度は3件上がってきたが、適宜対応する事ができた。 ・いじめ防止や基本的モラル・マナーの指導に関する評価は生徒・保護者共に肯定的な意見が多い。また「悩みや相談事に親切に対応してくれる先生が多い」に肯定的意見が多かった。これは、個に寄り添い、自己肯定感を高めようとする教員側の対応が評価されたものと思われる。
5　今年度の具体的かつ明確な重点目標	・安全・安心な環境づくりを進め、個に寄り添い、自己肯定感を高めるように努める。 ・自他の人格と生命を尊重し、健全な人間関係を築くとともに、社会性の育成に努める。
6　重点目標を達成するための校内における組織体制	・少ない職員の中、分掌の主担当者を中心に、連絡を密に取り、全職員体制で取り組む。

7　目標の達成に必要な具体的な取組	8　達成度の判断・判定基準あるいは指標
(1) 生徒の実態把握のための各種アンケートの実施・分析を行い、懇談を随時行い、担任を中心に保護者・特別支援コーディネーターと連携して、生活及び学習の支援に努める。	(1) 心のアンケート、スクールライフアンケート、いじめのアンケート、生徒及び保護者を対象とするアンケートの実施と結果分析。
(2) 生徒の主体性の伸長を図るため、学校行事・部活動・生徒会活動の活性化を図り、生徒が自主的に活動できるように計画的な指導・支援に努める。	(2) 学校行事・生徒会活動の参加率及び部活動加入者数及び活動状況・大会成績。
(3) 良好な対人関係の構築や社会性を育むために、あらゆる場面を通してコミュニケーション能力の育成を図るとともに、職員間での情報共有を徹底する。	(3) 職員会議・職員室での職員間の情報共有、必要に応じて養護教諭・SC や外部機関との情報共有。

9　取組状況・実践内容等	10　評価視点	11　評　価
・中学校や前籍校からの聞き取りにより、生徒の実態をできる限り早期に把握し、学校適応のための支援を行った。 ・社会的経験の少ない生徒実態に沿った基本的モラルや生活に必要とされる知識・態度についての具体的指導を行った。 ・スクールカウンセラー等の外部機関と連携し、生徒を多面的に支援した。	(1) スクーリング参加率やレポート提出率の維持等、通信制の学習活動に適応しているか。 (2) 生徒実態や課題に沿った指導・支援がなされているか。 (3) 学校組織マネジメントを機能させ、組織的な対応がなされているか。	A (B) C D (A) B C D (A) B C D

12 成果・課題	総合評価
○コロナ禍でも安心。安全に参加できるよう学校行事の見直しを図り実施した。 ○多様化する生徒に対応するため、職員研修で「SOSの出し方」について学んだ。また、常に生徒の情報交換や情報共有を徹底し生徒指導に役立てた。 ○生徒実態の多面的な把握のため、スクールカウンセラーとの連携を強化した。 ▲年々、年度途中でのリタイアが増加してきている（特に1年生）。原因を考察して次年度以降に生かしたい。	(A) B C D

13　来年度に向けての改善方策案

・本課程の特徴「自学自習」を、入学当初に生徒に徹底する必要がある。「プレスクーリング」等において、「出席時間数」・「レポート提出」・「定期テスト受験」などとともに「履修と修得」について年度末に困らないように、詳しく指導しなければならない。
・コロナ禍においても安心・安全な学校行事を実施する。
・多様化する生徒の実態を把握するため、特別支援教育コーディネーターを中心に保護者や外部機関との連携を今年以上に図る。

II　学校関係者評価

実施年月日：令和５年１月２７日

【意見・要望・評価等】

・生活や学習ばかりでなく、社会経験の少ない生徒、社会へ出ることへの不安を抱えた生徒も多い。通信制の生徒も地域とのつながりを持てる機会があるとよい。
・情報発信に関しては、様々な問題がある。情報リテラシーに関する更なる指導をお願いしたい。
・生徒の多様性を重視した指導をお願いしたい。